

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	佐賀県	事業実施主体	佐賀県、基山町	地域再生計画名	基山町の発展に向けた交通ネットワークの整備
計画期間	平成29年度～令和5年度	評価責任者	佐賀県農林水産部森林整備課長、基山町企画政策課長		

	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標 総数		達成 数			
①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	指標 1	大興善寺入園者数の増加	76,000人	H27	78,000人	R1	84,500人	80,000人	R5	54,800人	×	6	1	町道の整備によりアクセスは改善されたものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受け入園者数が落ち込み、最終目標値に届かなかった。入園者数の増加には更に町道及び林道の整備と集客のための取組が必要である。
	指標 2	J Rウォーキング参加者数の増加	2,478人	H27	3,300人	R1	3,020人	4,000人	R5	1,980人	×			町道の整備によりアクセスは改善されたものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受け参加者数が落ち込み、最終目標値に届かなかった。参加者数の増加には更に町道の整備と集客のための取組が必要である。
	指標 3	特用林産物サカキの売上額の増加	373万円	H27	650万円	R1	386万円	1,000万円	R5	659万円	×			林道等を整備した効果により、特用林産物サカキの生産性が向上し売上額は増加したが、新型コロナウイルスの影響もあり目標値には届かなかった。生産性向上のためには更に林道等の整備が必要である。
	指標 4	基山（きざん）草スキー場の利用者数の増加	11,346人	H27	14,400人	R1	1,613人	17,100人	R5	1,078人	×			町道の整備によりアクセスは改善されたものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受け利用者数が落ち込み、最終目標値に届かなかった。利用者数の増加には更に町道及び林道の整備と集客のための取組が必要である。
	指標 5	基肆城跡および文化財の見学会・遺跡探訪参加者数の増加	150人	H27	240人	R2	442人	300人	R5	852人	○			林道・町道の整備によるアクセスの改善と独自の取組の効果により、参加者数の増加となった。 ※中間目標値について、令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業が実施できず実績がないため、令和2年度の数値を記入
	指標 6	間伐実施面積の増加	3.2ha	H27	5.0ha	R1	5.68ha	7.0ha	R5	6.2ha	×			林道を整備による効果として未間伐地域へのアクセス改善が図られた結果、間伐実施面積の増加となったが、豪雨災害の影響や大型車の通行が困難な箇所もあり、目標値には届かなかった。間伐実施面積の増加には、大型車ででの搬出ができるように更に林道の整備が必要である。
②地域再生計画に記載した 数値目標以外の波及効果の 実現状況	指標 1													
	指標 2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
計画			中間年度 (R1)	最終実績										
特別措置を適用して行う 事業	町道整備事業（整備延長）	0.6km	0.43km	0.6km	町道白坂久保田2号線の延伸、町道うそん谷線及び町道深底線の道路拡幅工事など予定していた事業を計画どおり実施することができた。									
	林道整備事業（整備延長）	0.1km	0.1km	0.1km	林道寺谷線について、作業等に時間を有し整備年度が計画より1年遅れたが、それ以外は当初計画どおり整備することが出来た。									
その他の事業														
計画外で独自に実施した 事業	森林環境保全直接支援事業	森林整備作業に支援			林業生産活動等が継続的に実施される仕組みを作り上げることを目指し、森林経営計画の認定を受けた方等に造林、下刈り、除伐、間伐等の森林整備作業の支援を行った。									
	美しい森林づくり基盤整備交付金	森林の間伐や造林等の促進			地球温暖化防止をはじめとする森林の多面的機能の維持増進に資するため、森林整備（間伐）を実施し、特定間伐等促進計画における目標の達成を図るため、森林所有者に間伐等の森林施業の支援を行った。									
	観光地の魅力向上	観光サイン事業、草スキー世界大会の実施等			基山町にある神話から古代の由緒ある観光資源を散策ルートで繋ぎ、観光サインの設置や観光案内ホームページの充実などを実施した。また、「草スキー世界大会」を開催し、草スキー利用者の増加を図った。									
	公共交通機関の連携強化	山間地区から市街地までの交通手段の確保			町民の要望を踏まえて運行ルートの見直しやダイヤ改正を随時検討・実施し、利便性の向上を図った。									
	定住の促進（中心市街地整備事業）	アクティブシニアの活躍の場の提供と子育て環境充実			福岡都市圏在住のアクティブシニアや子育て・若者世帯の移住と併せて、町内在住の高齢者に対して、町内中心部への住み替えを推進するとともに、アクティブシニアの活躍の場の提供と子育て環境充実（4歳児検診、子育て関係者への研修）のための施策を一体的に実施した。									
④評価方法	「基山町まち・ひと・しごと創生推進会議」により検証を行った。													
⑤事後評価の公表方法	基山町のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した町道整備と林道整備を一体的に実施することで基山町全域の交通ネットワークを強化し、集客拠点間のアクセスを改善した。林道については、作業等に時間を有し整備年度が計画より1年遅れたが、それ以外は当初計画どおり整備することが出来た。町道及び林道の整備によりアクセス時間の短縮や利便性の向上など観光・交流人口の増に寄与したと考えるが、新型コロナウイルスの影響により観光客が大幅に減少したため、目標値の達成には至らなかった。さらなる観光・交流人口の増や山間部の森林整備の推進を図るため、観光地としての魅力向上のための事業や森林整備に関する事業を進めているが、新たに整備が必要な箇所等があり、すぐには山間地域の観光・交流人口の大幅増とまでは至らない見込みである。													
⑦今後の方針等	計画の目標数値について、主に新型コロナウイルス感染症等の影響を受けて達成が出来なかったが、今後は以下の対応等を行っていく。 ①観光・交流人口の増については、他事業にて情報発信の強化や基山町体験ツアーイベントの実施など、町内を周遊するイベント事業の企画・実施にて誘客を図り、向上を目指す。併せて、草スキー場や基肆城跡周辺の環境整備を行うとともに、観光地までのアクセス道路が十分に整備されていないために観光バス等の運行には効率が悪くなっている状況の解消について検討していく。国道3号から延びる幹線町道である「町道三国・丸林線」の道路拡張や鳥栖市方面からの来町に重要となる「町道牛舎・ハツ並線」の整備、観光地周遊ルートにおいて主要なキャンプ場や水門跡に接続する「町道平林2号線」及び「町道丸林線」、「町道中山線」の整備など、効率的な道路網の構築を目指す。 ②特用林産物サカキの売上額や間伐実施面積の増加について、他事業による研修会の開催等により生産者や林業事業者の育成・支援・増加を図っていく。併せて、木材等の排出・運搬道が十分に整備されていないため大型車ででの搬出には効率が悪くなっている状況があり、その課題の解消について検討していく。													